

認知症になっても**安心**して暮らしていけるまちへ

神戸市では、全国初となる認知症対策の「神戸モデル」の実現に向けて取り組んでいます！

全国初「神戸モデル」4つのポイント

① 65歳以上は、自己負担ゼロで医療機関における2段階方式の認知症診断が受診可能

② 認知症と診断された方は、市が賠償責任保険(最高2億円)に加入するなど手厚い支援を提供

③ 神戸市民が認知症の方が起こした事故に遭われた場合、見舞金(最高3千万円)を支給

④ これらの費用負担を将来世代へと先送りすることなく、市民のうすく広いご負担で賄う仕組み

65歳以上は、自己負担ゼロで医療機関における2段階方式の認知症診断が受診可能

自己チェックだけに頼らず、医療機関での早期受診を促進

医療機関での早期受診を支援

認知機能
検診

地域の医療機関で
認知症の疑いが
「ある」か「ない」かを
診るための検診です。



認知機能
精密検査

認知症の疑いが「ある」
方は、専門の医療機関で
精密検査を受けてくださ
い。
認知症かどうかと、病名
の診断を行います。

Q どうして医療機関での早期受診が
必要なの？

A 認知症には、アルツハイマー型認知
症、血管性認知症、レビー小体型認知
症、前頭側頭型認知症などがあり、
対応方法がそれぞれ異なります。

医療機関での早期受診によって病名
を確定させることで、それぞれに必要な
投薬、治療、支援が可能となります。

精密検査を含めた市民の自己負担ゼロは、神戸モデルだけ

認知症と診断された方は、市が賠償責任保険に加入するなど手厚い支援を提供

認知症と診断された方は以下の支援が受けられます

①賠償責任保険に市が加入

- ◆ 認知症と診断後、事前登録された方の保険料を市が負担します。
- ◆ 認知症と診断された方（ご家族が監督責任を負った場合も含みます）が事故で損害賠償責任を負った場合、最高2億円（予定）を支給します。
※自動車事故は対象外

②事故があれば、24時間365日相談

- ◆ 24時間365日対応のコールセンターを設置し、事故がおこった際、迅速に相談に応じます。

③所在が分からなくなったら、かけつけます

- ◆ 事故を未然に防止するため、日常生活を見守り、非常時のかけつけ（搜索）サービスを含むGPS（衛星利用測位システム）の導入費用を負担します。
※ 月額利用料金（2,000円程度を予定）は別途発生します

医療機関で
認知症診断
を受ける
メリットを
明確化

認知症診断
の早期受診
を促進

神戸市民が認知症の方が起こした事故に遭われた場合、見舞金(最高3千万円)を支給

事故にあわれた市民に見舞金を支給

全市民を対象にした見舞金制度は全国初

- ◆ 認知症の人が起こした火災や傷害などの事故に遭われた方に対し、見舞金(給付金)を支給します。
- ◆ この制度は事前登録の必要は一切なく、すべての神戸市民を対象としています。

<案>

外出中の事故※などで
死亡された場合 最高3千万円

入院された場合 最高10万円

持ち物が壊れた場合 最高10万円

火事の場合 最高40万円

※自動車事故は対象外

市民の事前登録は一切不要

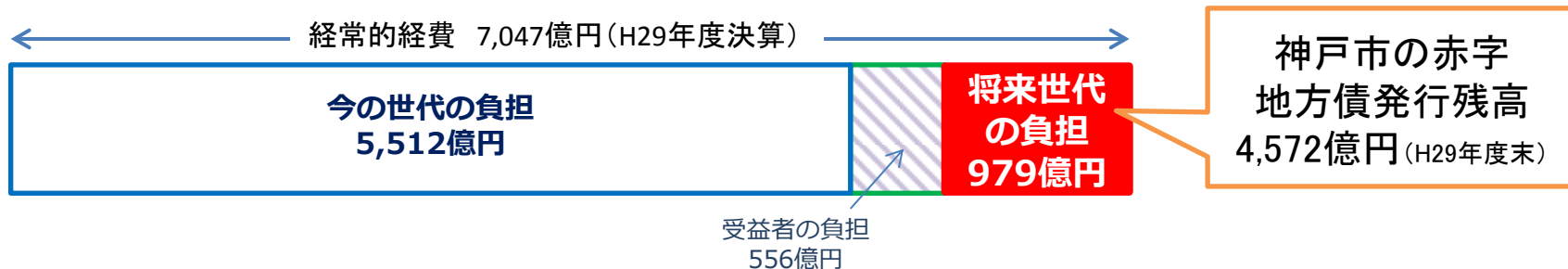
Q どうして市民を対象にした見舞金制度が必要なの？

A 認知症の人が火災や傷害などの事故を起こされた場合、賠償責任の有無の判断が難しいケースがあります。

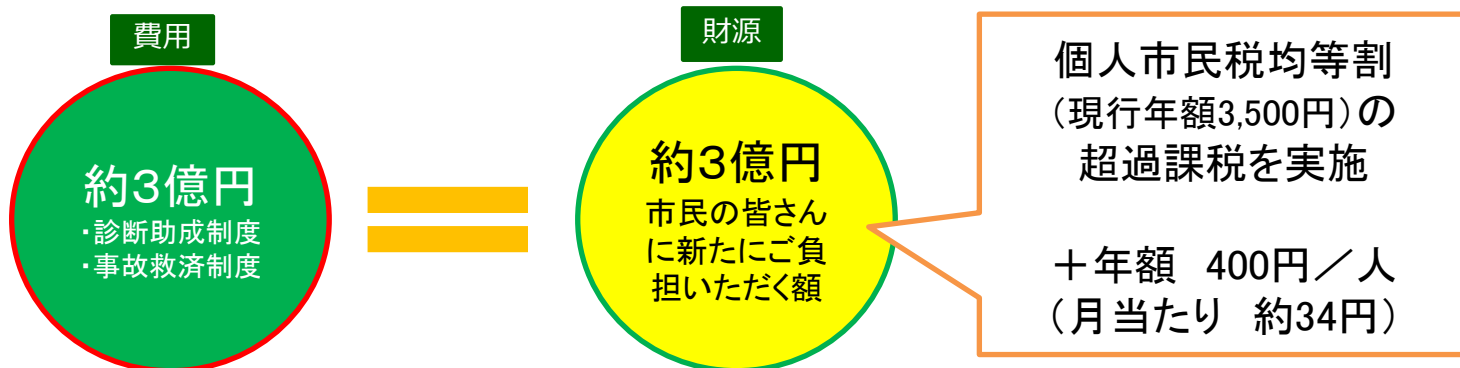
こうした場合、被害を受けた方の損失が早期に補償されないことが想定されますが、神戸市の制度では、市が最高3千万円の見舞金を速やかに支給する仕組みにしています。

「神戸モデル」に係る費用負担を将来世代へと先送りすることなく、
市民のうすく広いご負担で賄う仕組み

福祉サービス等に要する神戸市の経常的経費は、今の世代の負担で賄えておらず、既に将来世代の負担へ先送りされています



全国初となる認知症対策「神戸モデル」に係る費用は、将来世代へと先送りすることなく、市民のうすく広いご負担（月当たり約34円）で賄う



神戸モデルの費用と財源（3カ年＜平成31年度～33年度＞の年平均）

※均等割が課されない方にはかかりません
※個人県民税は年額2,300円で変わりません